

県指定無形民俗文化財に 3件が指定されました

岩手県文化財保護審議会は本市の駒木鹿子踊り(奥田満代表、松崎町)、長野獅子踊り(菊池栄喜代表、小友町)、板澤しし踊り(佐々木國允代表、上郷町)の3件を、県無形民俗文化財に指定するよう答申しました。それ歴史ある郷土芸能を、地域で大切に守り伝えていることが評価されました。

今回の指定により本市の県指定物件は有形、無形を合わせ15件になります。

宝くじ助成金を活用し 活動用資機材を設置しました

綾織町地域づくり連絡協議会(菅野世紀会長)は(財)自治総合センターの宝くじ助成事業を活用し、液晶テレビ・ワイヤレスアンプ・ビデオカメラ等を整備しました。整備した資機材は同地区に設置・活用されます。



◆ 小学男子 佐々木奏(遠野2) ▽ 低学年 佐々木博国(松崎町)
 ◆ 小学女子 濱百沙(上郷2) ▽ 中学年 高学年 金濱佑紀(同6)
 ◆ 小学女子 細川愛奈(同5)
 ◆ 一般 濱有沙(上郷2) ▽ 中学年 金濱百花(同4) ▽ 高学年 木博国(松崎町) ▽ 40歳以下 佐々木



優勝を喜ぶ金田一君

3位 宮澤圭汰(上郷3)
 1位 金濱佑紀(同6)
 3位 田悠馬(上郷5)

◎ 第57回市民卓球大会
 (2月8日、赤羽根スキーフィールド)※優勝者のみ紹介
 【大回転競技】

◎ 第29回市民卓球大会、第9回市中学校卓球選手権大会(2月2日、市民センター体育館)

【一般団体】 優勝=遠野町A 準優勝=小友町、3位=宮守町A、青笹町A
 【中学個人】 優勝=佐々木竜雅(遠野西中2)、準優勝=堀内翔瑠(遠野中2)、3位=佐々木凜(遠野西中3)、佐々木和久(同)

【小学生男子】 上 菊池福盛(青笹町)
 【回転競技】 ◆ 小学男子 田悠馬(上郷5) ※これ以外の種目順位は、大回転競技と同じ



各種スポーツ結果

コンパクトシティ化実現へ 本庁舎設置の提言を受ける

少子高齢化に即した新たなまちのあり方を探る「遠野市進化まちづくり検証委員会」(山田晴義委員長、委員7人)の第4回会議は2月6日、市役所とぴあ庁舎で開催され、本庁舎整備について同委員会から現在のとぴあ庁舎を活用した周辺での整備が望ましい旨の提言が示されました。市は整備候補地として①とぴあ庁舎周辺②旧本庁舎周辺

③穀町周辺の3案と、分散する行政組織の集約案を提示。同委員はそれぞれのメリット、デメリットについて意見を交わし、にぎわいの創出などの観点から①案が望ましいと提言しました。山田委員長は「さまざまな機能を集中させ再発展させることができるよう、市民の意見も盛り込んだ整備を望む」と意見し、本田市長は「市民目線を大切に、



激励を受けた入隊予定者の7人

4月から自衛隊に入隊する市出身者の激励会は2月10日、とぴあ庁舎で行われました。入隊予定者7人と市自衛隊協力会の会員や市関係者など20人が出席。激励会では、入隊予定者が入隊に向けた決意をそれぞれ発表したほか、同協力会から入隊予定者に記念品が贈られました。

本田市長は「災害対応や平

ニホンジカによる食害などを軽減させることを目的にした二ホンジカ対策の講習会は、1月28日、2月1日の両日、あえりあ遠野などで開催されました。3日間で延べ92人の農業者らが参加。ニホンジカの基礎知識や被害実態などの講演後、狩猟免許を持つ市鳥獣被害対策実施隊のメンバーら4人がわな設置方法などを指導しま

した。狩猟免許を持たなくてはできないわなを取り扱いなどの実践に、参加者は真剣に取り組んでいました。

同実施隊長の太田代雅敏さんは「予想以上の参加者数とその姿勢から、市内で被害が広がっているのが分かった。狩猟やわな設置のほか、被害軽減にはこれまで以上の対策が必要だが地道に継続していきたい」と被害対策へ決意を



わなの取り扱いを学ぶ参加者

二ホンジカの被害軽減へ一丸 わな設置補助講習会を開催

二ホンジカによる食害などを軽減させることを目的にした二ホンジカ対策の講習会は、1月28日、2月1日の両日、あえりあ遠野などで開催されました。

3日間で延べ92人の農業者らが参加。ニホンジカの基礎知識や被害実態などの講演後、狩猟免許を持つ市鳥獣被害対策実施隊のメンバーら4人がわな設置方法などを指導しま

した。狩猟免許を持たなくてはできないわなを取り扱いなどの実践に、参加者は真剣に取り組んでいました。

遠野の新しい未来を創造する みらい創り冬キャンプ開催

市は4月に、今回の参加者を発足し、対策を強化する予定です。

新たにしました。市は4月に、今回の参加者を発足し、対策を強化する予定です。

綾織町地域づくり連絡協議会(菅野世紀会長)は(財)自治総合センターの宝くじ助成事業を活用し、液晶テレビ・ワイヤレスアンプ・ビデオカメラ等を整備しました。整備した資機材は同地区に設置・活用されます。



菓子の試験販売をする学生



各業種の視点で意見を交わす参加者

性など、さまざまな業種の視点から、意見を交わしました。富士ゼロックス㈱復興推進室の林直樹さんは「カレッジのモデルとしての遠野の可能性を広めに尽労いただきたい」と激励。予定者を代表し齊藤勇気さん(20歳)は「遠野出身であることの誇りに励み、自衛官として国のために尽力したい」と激励。予定者を代表し齊藤勇気さん(20歳)は「中央通りは和維持活動など、自衛隊の活動の場は広がっている。訓練に励み、自衛官として国のために尽力したい」と激励。予定者を代表し齊藤勇気さん(20歳)は「遠野出身であることの誇りを胸に、責任を果たせる自衛官となるよう努力していくます」と力強くあいさつしました。

また10日には道の駅遠野風の丘で、同社と連携している神戸松蔭女子学院大の学生らが㈱道の奥フームと共同開発した菓子「たるとく」を試験販売。今回の試験販売の結果を検証しながら商品化を目指す予定です。

性など、さまざまな業種の視点から、意見を交わしました。富士ゼロックス㈱復興推進室の林直樹さんは「カレッジのモデルとしての遠野の可能性を広めに尽労いただきたい」と激励。予定者を代表し齊藤勇気さん(20歳)は「中央通りは和維持活動など、自衛隊の活動の場は広がっている。訓練に励み、自衛官として国のために尽力したい」と激励。予定者を代表し齊藤勇気さん(20歳)は「遠野出身であることの誇りを胸に、責任を果たせる自衛官となるよう努力していくます」と力強くあいさつしました。



菓子の試験販売をする学生

